

★Supported by the National Garden Scheme in the U.K.: 英国 The N.G.S.後援

~The N.G.S. Japan~

一般社団法人 N.G.S. ジャパン

~2024年春、私の思い~



★お願い、正義よ、がんばって!★

私の好きな言葉の中に「正義と公平」があります。今まで私はこの言葉を固く信じて生きてきた感があります。しかし、今、世界を見渡すと、どうでしょう。今だに止まぬロシアのウクライナ侵略戦争、パレスチナのガザでのイスラエルとハマスの残虐な殺戮、毎日何でこんなに残酷な行為を続けているのでしょうか。心がつぶれる思いです。自由と平等、そして平和の為になくってはならぬ「正義と公平」の考えが、今、この上もなく虐げられ肩身の狭い状態になっています。どうなっているのだ、世界よ! これからどう進んでいくのか、未来の世界よ!

ロシアのプーチンのウクライナへの丸2年にも渡る侵略戦争の行方を日々気が気でない気持ちで「1日も早く終わってほしい!」と祈っているのに、時には「正義」に対して「絶望」を感じてしまう事さえあります。「お願いだから、正義よ、がんばってほしい!これからも、「正義」こそ、「絶対的な真理」だと疑いもなく信じていきたいし、子どもたちの未来の為に世界中どこであっても絶対に侵略戦争はあってはならない!と、この思いで、心から心より “Never, Never, No War!” と 叫びたい。

先日、加藤登紀子さんが唄う「百万本のバラ」を久々に聞きました。「貧しい画描きがある女優に恋をした。その画描きは全財産を売り払い、広場を埋めつくすほど出来るだけ多くの赤いバラを買い、その女優に捧げた。しかし、彼女は彼の愛を受け入れず立ち去って行った。ただそこには赤いバラだけが残されていた。」この曲は、始めはバルト3国のラトビアという国の子守唄だったそうだ。後にロシア人がロシア語の歌詞をつけて世界中でヒットした有名な曲だ。これはただ単に失恋の唄ではない、ただ赤いバラだけが彼の元に残ったのではない、そこには切ないほど美しい純粋な愛、無償の愛が残ったのだと強く感じる。彼の強い思いは「崇高な愛」だと、心が動く。



今の時代だからこそ、純粋な「真の愛」が必要なのだと思う。「愛」は、時には人に前へと突き動かす勇気を与えてくれる。「愛こそが、平和へ導いてくれる強くて大きなエネルギーを持っている」と信じる。

「世界中の全ての人々が一つの心となり、「愛」の為のこの赤いバラ“Red Rose”運動が巻き起こり、その大きな愛の力で戦争や紛争を止めてほしい!」、そう、今、私は一人つぶやく。切なる願いを込めて。

日本では、今年の1月元旦に能登半島を中心に大きな地震が起こった。まるで、自然からの戦いのように残酷な地震であり、能登半島の人々の人生を大きく狂わせてしまった。これは体験した者しか分からない絶望的な大災害で、私には、軽率なねぎらいのお見舞いの言葉など見つからなかった。せめて、今年のオープンガーデンのご寄付は「令和6年能登半島地震の義援金」へ送りたいと思っています。

「令和6年能登半島地震」でお亡くなりになられた多くの人々に哀悼の心を捧げご冥福をお祈りいたします。被害に遭われた多くの人々に1日も早くいつもの日常生活に戻れますように心からお祈り申し上げます。

本当に空しいほど無力な谷口ですが、出来るだけ熱い思いを込めて、N.G.S.ジャパンの「お庭という美しい癒しの中で、より多くの皆様に、楽しんで頂き、感動して頂き、その幸せのお裾分けとして『チャリティ』という小さな幸せたちに社会のために活躍してもらおう」活動を、今年も皆様の温かなご協力ご支援そしてお優しい御心を頂きながら行ってまいります。今年秋には横浜市イギリス館で「オータム・フローラル・チャリティ・コンサート」を予定しています。詳細な日程など決まりましたら、又お知らせさせていただきます。至らないことばかりですが、今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

感謝と共に心より御礼

(社) N.G.S.ジャパン

代表 谷口 多美江

